

☆視 点

**中国の産業用繊維品生産**

中国の産業用繊維品生産は近年急速に拡大し、2011年は910万トに達している。用途別では帆布類の規模が大きく、この5年間で最も伸びが大きいのは土木合成材料であった。

**1. 中国の産業繊維品生産**

中国の産業用繊維品生産は1988年は53万トに過ぎなかったが、2000年以降、年間10～20%増のペースで増加を続け、2011年は910万トに増加している。

2012年の数字は発表されていないが、金額ベースでは前年比18.5%増の2,126億元（約3.2兆円）であった。伸び率は繊維業界でトップである。数量ベースの生産は1,000万トを超えたものと推定される。

2012年の不織布生産は23.3%増の236.4万トで、好調な産業用の中でも、とりわけ伸びが大きい。業界の売上額は19.7%増、利益は18.3%増と好調である。輸出は7.4%増の48.5万ト（輸出比率は20%）であった。

中国の産業用繊維品生産

(万ト、%)

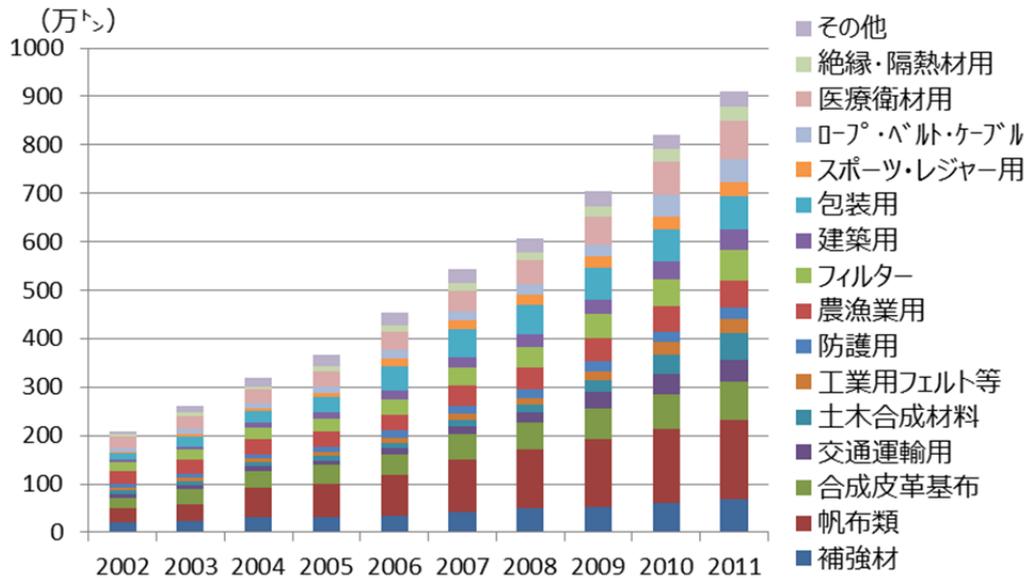
	生産量	前年比
1988	53	...
1993	86	...
1997	132	...
1998	156	17.8
2000	174	...
2001	190	9.3
2002	208	9.5
2003	262	25.8
2004	319	21.7
2005	365	14.7
2006	454	24.2
2007	544	20.0
2008	607	11.4
2009	703	15.9
2010	822	16.9
2011	910	10.8

(出所) 中国紡織工業連合会

## 2. 用途別の産業繊維品生産

2011年の生産を用途別に見ると、帆布類が164万トンを全体の18.0%を占める最大用途である。内訳は、トラックの幌、靴の表地・中地、広告用となっている。帆布類に次いで規模が大きいのが医療・衛材用で80.5万トン、全体に占める割合は8.8%である。輸出割合が高い用途とされる。3番目に規模が大きいのが合成皮革基布。2011年の生産量は77.9万トンを、全体の8.6%を占めている。その他、包装用（70.6万トン）、補強材（68.5万トン、ほとんどがタイヤコード）、フィルター（64.9万トン）などの規模が大きい。

中国の用途別産業用繊維品生産



(出所) 中国紡織工業連合会

この5年間の伸びを見ると、全体では2006年の453.3万トンが2011年には910.2万トンに年率15%で増加している。最も伸びが大きい用途は土木合成材料で、この間年率34.6%のハイペースで急増している。インフラ整備の進展でジオテキスタイル用途などが増強しているものと推察される。次いで成長率が高いのが交通運輸用。自動車生産の増加にともない、生産量が増加し、年率28.5%で成長している。3番目はロープ・ベルト・ケーブルで年率23.6%の増加。各種の産業用、建設用等で需要が増加しているものとみられる。

(担当：業務調査グループ 杉原)